



# ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健  
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijibutuwazakkou/index.htm>

## 夏至の日に、太陽を見上げ、沖縄を思う

先週の6/21(土)は「夏至」でした。年によっては20日や22日になることもあります。この日は、1年のうちで最も太陽が高く上り、昼の時間が最も長い日です。緯度により異なりますが、東京の日の出は、4:25、日の入りが19:00で昼間の長さが14時間35分でした。実際には、朝焼け・夕焼けなど30分ほどありますので、夜は8時間半位です。ちなみに一番日が短い「冬至(今年は12/22)」の日の出・日の入りは、6:47と16:32ですので、昼は9時間45分です。その差は4時間50分ほどです。日の長さが変わる仕組みや、夏至が一番暑い日にならない説明は、ややこしく、3年生理科の天体で習います。



確かに暦の上では、夏のだ真ん中になりますが、今年は、梅雨はどこに行ってしまったのか? と思うほどの晴天で、気温も30度を超え、太陽がキラキラと青空に浮かび、暑い日になりました。

毎年、この時期になると思い浮かぶのが、夏至の日から二日後の6月23日「沖縄慰霊の日」です。小学生の頃にサイパン・テニアン島に兵士として行っていた伯父から聞いた話が、沖縄の歴史とダブって思い出されます。

この日は、昭和20年(1945年)、太平洋戦争の沖縄戦において、日本軍による組織的な戦闘が終了した日とされており、沖縄県が「沖縄戦犠牲者の霊を慰め世界の恒久平和を願う日」として制定した日です。

3か月に及ぶ戦闘で、沖縄県民12万人以上(一般県民9万4,000人以上・県出身兵2万8,228人)、県出身以外の日本兵6万5,908名、アメリカ兵1万2,520名、犠牲者は合わせて20万人以上、沖縄県民の1/4にのぼる方々が犠牲になったそうです。※総務省資料

また、8月6日は「広島原爆の日」、8月9日は「長崎原爆の日」であり、それぞれの推定犠牲者数は14万人と7万人です。そして8月15日は「終戦の日」です。太平洋戦争全体で犠牲になった日本人はおよそ310万人、アジアを含めて、第二次世界大戦全体では、8,000万人ともいわれています。

太平洋戦争からちょうど80年がたちました。これほど長い年月、戦争や紛争から離れている日本は、先進国と呼ばれる国の中で、稀有な存在となっています。これがいつまでも続くためにも、生徒の皆さんが、「平和とは何か?」を考え、平和を願う心をいつまでも、持ち続けてくれることを願います。

～ 忘れてはならない4つの日 6月23日・8月6日・8月9日・8月15日 ～

6/23 沖縄慰霊の日、8/6 広島原爆の日、8/9 長崎原爆の日、8/15 終戦記念日

\*\*\*\*\*

### 給食 沖縄郷土料理をいただきながら平和を思う

6月23日(月)の給食メニューは、「シシジューシー」、「イナムドゥチ」、「にんじんしりしり」、そして、「ちんすこう」と、主食・主菜からデザートが、すべてが沖縄の郷土料理でした。これは、この日が「沖縄慰霊の日」であることに合わせて、栄養士さんが6月献立の中に入れてくれました。今日の昼食は、沖縄郷土料理を頂きながら、平和であることを噛みしめながら、頂きました。

本日の「イナムドゥチ」は、鯖・昆布・豚骨の3つの出汁を取った椀物、「シシジューシー」はジンジャーが利いた夏向きのご飯物、「にんじんしりしり」はポイル野菜なのにシャキシャキ感がある副菜、デザートはマイルドな甘さで、いくつでも食べられそうなサクサクな「ちんすこう」でした。



## ■運動会の生徒の作文 ～各学年だよりより 再掲載～

生徒たちが、運動会でそれぞれが、感じたこと、思ったことをつづった作文を紹介します。各学年だよりからの再掲載です。全部をご紹介できずに申し訳ありません。



## 「プラスになる声かけ」

### 言葉には魂が宿っている

僕は今年の運動会で池田先生が言っていた「言葉には魂が宿っている」という言葉が本当なんだなあと思いました。そう思った理由は2つあります。1つ目は100メートル走です。僕は走る前、友達に「ゴールテープを切ってくるわ!」と冗談で言いました。ところがほんとにゴールテープを切ることができて自分でも驚きました。また1位になれると思ひ込みながら最後まで全力で走りました。2つ目は長縄です。最初自分は長縄が苦手で失敗したり、連続で跳べなかったりすることがほとんどでした。しかし友達は嫌な顔せず、入るタイミングを教えてください、跳びやすい順番にしてくれたりもしました。そのおかげで日に日に上達していき、ミスが減り、ほぼ連続で跳べるようになりました。運動会が近づいてきた頃、僕は友達に優しく接してもらったことを思い出し、ミスをした友達にはプラスな声掛けをすることを心がけました。迎えた本番、C組には負けてしまったけれど、クラス最高記録を出すことができたのでよかったです。

この運動会を通して、言葉には魂が宿っていて、人の心を大きく変えるものだとなりました。その言葉、一つ一つで物事が良い方向に進んだり、悪い方向に進んだりすることもあるとわかりました。運動会は日々の体育の成果を見せるだけでなく、友達や先輩と協力して団結力を高め、心を成長させる行事だと思いました。

## 「全力で楽しむこと」

### 運動会を終えて



今回の運動会は私にとって、とても満足する運動会になりました。なぜなら、とても大切なことを学ぶことができたからです。私は今回初めて実行委員になり、朝早くから準備をしたり、放課後にリレーの走順を考えたりなど、忙しい1ヶ月になりました。また、体育の授業では特に大縄跳びに力を入れ、「勝つために、どのようにすればよいのか」ということを考えて練習していました。

本番当日、クラスリレーでは、一人一人が全力を出し、1位でゴールすることができました。大縄でも、練習の成果を生かし、力いっぱい跳ぶことができました。しかし、結果は負けてしまい、とても悔しい気持ちになりましたが、どの競技も全力で楽しむことが、とても満足できる結果になりました。そのような経験から、結果だけでなく、練習した過程が大切だということ学びました。また、どの競技も楽しく取り組めたことから、苦手なことでも、楽しく前向きに取り組むことも大切だと思いました。来年の運動会では、実行委員長を務めた先輩のようにかっこよくみんなをまとめて、最高の運動会にできるように頑張りたいです。

※原文では、実行委員長のお名前が入っています。

## 「これでよかった」

### 最後の運動会



中学校生活最後の運動会はドキドキとワクワクでいっぱいでした。

私は最後の運動会で団リーダーを務めました。団リーダーとして良い運動会になるように、放課後や昼休み、朝早くに集まったりもしました。そこまでして考えた団の応援なのに、最初は上手くいきませんでした。しかし、その後、団リーダーだけでなく、実行委員をはじめクラスのみんなが協力してくれるようになりました。

そして、運動会当日。雨天で2回も延期しましたが、その分たくさん練習ができたので気合が入りました。午前の種目の個人縄跳びは20名残り、100m走・障害物走・三色合戦では青団全員でしっかり声を出し、応援しました。綱引きと混合リレーはあと一步というところで残念な結果となり、ついに練習の時からどのクラスも強く接戦だった全級リレーになりました。リレー中は何度も順位が変わりましたが、B組が1位という嬉しい結果になり、クラスみんなで喜び合いました。午後の種目。今まで練習を重ねてきた8の字になりましたが、こちらは3位となってしまいました。あっという間に閉会式となり、3年B組は何も賞を取れずに最後の運動会は終わってしまいました。

今まで団リーダーとして準備を重ねてきたし、本番当日はあっという間に終わってしまったので、寂しさを感じたりもしました。でも、残念な結果になっても、みんな「楽しかった」と言っていたのを聞き、私も楽しかったと感じられたこともあったので、これで良かったと思います。今回みんなで協力してきたことを、五中の二大行事の合唱コンクールにいかせるようにしたいと思います。

※家庭配布版では、生徒氏名を掲載しています。